

放課後子ども教室訪問

今年度も、県北域内全ての放課後子ども教室を訪問いたしました。どの教室でも子どもたちの元気な声が会場いっぱいに響き渡り、子どもたちの楽しそうな笑顔であふれていました。それと同時に、子ども教室に携わるスタッフのみなで子どもたちを育てようという熱意が伝わってきました。

各教室とも地域のニーズ、実態に応じて工夫して実施し、大変参考になる活動ばかりでした。今後も、子どもたちの安心・安全な居場所作りとして、地域に根ざした活動になることを望みます。

更なる活動の充実を目指して、県北教育事務所では以下のことをアドバイスしてきました。今後の活動の参考になればと思います。



(活動の充実を目指して)

① プログラムの充実

- ・新しいプログラムを取り入れることも大切だが、今までのプログラムでもねらいを明確にして取り組むことが大切である（これまでの反省を活かして）
- ・自由遊びや子どもたちが決めたプログラムにより、子どもたちの自主性を育むことも大切である。

② 大人も楽しめる活動

- ・自分自身の能力（経験と知恵）を最大限に活かすことが大切である。
- ・大人も一緒に活動に取り組むことにより、生涯学習の主体者として生きがいを持って取り組むことが大切である。

③ おじちゃん・おばちゃんだからできること

- ・放課後子ども教室は、学校でも家庭でもない子どもたちの居場所である。第三者（地域の方々）として関わることで、様々な考えや生き方に触れ、子どもたちの価値観が多様化する。
- ・身近な大人のよきモデルとなる。

④ 研修の機会

- ・各放課後子ども教室が抱える課題解決のために、個人の資質の向上を図る必要がある。

子どもたちの放課後の安全・安心な居場所作り。